

(12月1日現在)	(11月中)
世帯数 16,642世帯	生れた人 45人
人口 52,195人	亡くなった人 6人
男 25,660人	転入した人 210人
女 26,535人	転出した人 213人

昭和60年1月1日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)  
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

# 迎春 未来にひらく向日市



## 新しい市民文化の創造を



市民のみなさん、あけましておめでとうございます。

一九八五年の初春を、健やかにお迎えになったことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、長岡京遷都千二百年の意義ある年にあたり、多くの市民の方々とともに、数々の記念行事を実施し、二十世紀に向けて文化的な格調高いまちづくりへの出発点としたのであります。

特に、文化の日には、人類永遠の平和樹立の意思を表明し、世界平和都市宣言を行うとともに、文化の拠点として文化資料館と図書館を開館し、また、米国カリフォルニア州サラトガ市と姉妹都市盟約を調印し、国際交流の第一歩を印すなど、本市にとって記念すべき年であったと存じます。

これもひとえに市民の皆さん方のご支援の賜であり、深く感謝を申し上げる次第です。

今日、わが国の社会経済情勢の変化は、極めて厳しく、人口の高齢化、国民の価値観の多様化など、さまざまな面で成熟化が進み、さらに、国際化、高度情報化社会へと大きく変動しつつあります。

しかも、本年は、国、地方に通ずる行財政改革の推進が重要課題となつております。

こうした中で、本市にとっては、厳しい財政運営に立たされるものと存じますが、行政の原点である福祉の後退を許さないために、行政の一層の効率執行と財源の確保に努めるとともに、地方分権の観点から地方行財政制度の確立に力を注ぐ所存であります。

私は、市民の住環境を整え、明日に向かって飛躍する向日市とするためにも、幹線街路や河川の整備、駅前周辺の再開発、上下水道事業の促進などに努めるとともに、丘陵地帯の緑や自然の景観を保全し、加えて、緑化推進や憩いの場としての公園の整備をはかり、定住都市の基盤づくりを計画的にすすめる所存です。

また、六十三年京都国体に向けて、体操競技の会場として、かつ、市民の健康づくりとふれあいの場となる市民体育館の建設に着手し、六十一年秋、完成を目指して取り組みをすすめるとともに、文化資料館、図書館、市民会館、公民館およびコミュニティセンターを文化の核として、市民の知性と教養を高め、歴史と伝統を基盤に地域社会に根ざした文化の創造をはかり、心豊かな文化的なふるさとづくりをめざして存じます。

さらに、高齢化社会の進行に対処して、高齢者の生きがいを高めるとともに、市民の福祉と健康を守り高める施策の充実に努めてまいる所存です。

未来に開く向日市。のまちづくりに、皆さん方の格別のご理解とご協力をお願い申し上げ、本年も皆さん方にとって幸い多い年となることをお祈りして年頭のごあいさつとします。

向日市長 民林徳文